

【 2018 アジア選手権 】

2018年1月18日～1月28日 韓国・水原

試合結果報告 1 月 26 日 (金)

J P N	VS	IRN(イラン)
15	前半	15
13	後半	18
28	合計	33

個人得点

名前	前半	後半	7MTC		合計
佐々木 亮輔	0	0			0
酒井 翔一郎	1	0			1
笠原 謙哉	2	1			3
小賀野 龍也	0	0			0
部井久 アダム 勇樹	0	1			1
甲斐 昭人	0	0			0
植垣 健人	0	3			3
成田 幸平	1	1			2
徳田 新之介	2	1			3
渡部 仁	0	3			3
土井 レミイ 杏利	1	0			1
信太 弘樹	2	0			2
元木 博紀	4	2			6
玉川 裕康	1	1			2
東江 雄斗	1	0			1
門山 哲也	0	0			0
合計	15	13	0	0	28

戦評

5位か6位か、運命の一戦は初戦でも当たったイランが相手。日本はミーティングで「勝ちに行く姿勢」を確認し試合に臨んだ。出だしからエンジン全開の日本は、元木、笠原で連取するとGK・甲斐の好セーブもあり、前半8分過ぎには信太、玉川、元木で怒濤の3連取。その後もリードする展開で前半11分8-4と試合の主導権を握る。しかし、イランも負けじと攻守の立て直しを図り、一気に4連取し17分過ぎに10-9と試合をひっくり返す。そこから試合は流れが傾いた方が一気に連取を繰り返す異様な雰囲気となる。両者譲らず結局15-15で折り返した。

後半の出だしも互角の展開。しかし日本はここから連取できず苦しい展開となる。ここぞとばかりにイランが猛攻をしかける。後半4分から20分の16分間で3連取3回、4連取1回と怒濤の攻撃。日本は、植垣らを中心に反撃を試みるも連取ができずにじりじりと後退。終盤に渡部が気を吐くも28-33で敗戦、6位で大会を終えた。非常に残念な結果となってしまったが、この結果を真摯に受け止め、成果と課題を洗い出し、次なる目標を定めて強化活動を行っていきたい。

報告記入者 :

吉村 晃